

令和5年度 研修実施結果報告

- I 研修講座事業
 - 1 概要
 - (1) 研修講座改善の方針
 - (2) 研修講座の主な変更内容
 - 2 実績
 - (1) 講座数・受講者数
 - (2) 令和5年度に開催した研修講座一覧
 - 3 成果と課題
 - (1) 成果
 - (2) 課題
- II 教育研修員研修事業
 - 1 概要
 - 2 実績
 - (1) 研修員数
 - (2) 研究領域等
 - 3 成果と課題
 - (1) 長期研修
 - (2) 長期社会体験研修
 - (3) 特別研修
- III その他（出前講座による研修支援）
 - 1 実績
 - 2 成果と課題

令和6年4月12日
群馬県総合教育センター

I 研修講座事業

1 概要

群馬県教員育成指標を踏まえて研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」に基づき、「令和の日本型学校教育」を担う教職員の資質能力の向上に資する研修を実施した。

(1) 研修講座改善の方針

- 国・県の動向や新しい研修制度への対応を踏まえながら、組織的・協働的な取組を推進する研修の充実を図る。
- 多様化する子供たちへの対応に資する研修の充実を図る。
- ICTの効果的な活用やリーガルマインドの尊重等、教職員のニーズや課題解決の具現化を図る研修を行う。

(2) 研修講座の主な変更内容

① 基幹研修

- 持続可能な開発のための教育（E S D）や成年年齢引き下げに伴う各学校段階に応じた指導を推進する研修内容を充実させた。
- 児童生徒に寄り添い、支えていく視点を大切にした生徒指導・教育相談等を推進していくため、個別の課題に即した児童生徒への対応や保護者との関わりについて扱う研修内容を充実させた。
- リーガルマインドを尊重した教育公務員を育成するため、教育活動と法的根拠を関連付けた研修内容を充実させた。

② 指定研修

- 管理職やミドルリーダーがアセスメント能力・ファシリテーション能力を発揮できるよう、協議の場を積極的に取り入れたり、指導助言などの適切な関与について扱ったりする内容をより充実させた。
- 日本語指導が必要な児童生徒等が増加している状況を鑑み、組織的かつ体系的な指導を推進するために、多文化共生・共創の考え方に基づく教育について扱う研修内容を充実させた。
- 「特別支援学校寄宿舎指導員研修」は、隔年実施のため令和5年度は実施しなかった。

③ 希望研修

- 教員のICT活用指導力の向上
 - ・ 各教科等の研修講座において、ICTを効果的に活用した授業づくりについての講義内容を充実させるとともに、「ICT活用指導力向上研修講座」において教員の習熟度に応じたステップを設けるなどの工夫を行った。
- 多様化する子供たちへの実践的な対応力を高められるよう、「教育相談実践充実フォローアップ講座」を新設するとともに、教育相談や生徒指導を主として取り上げた研修講座において、多様な事例を基に受講者の考えを深める演習・協議等を充実させた。
- 「道徳科授業づくり研修講座」と「道徳教育推進教師（道徳主任）研修講座」を統合し、「道徳科研修講座」として実施した。
- 「外国人児童生徒等の担任等研修講座」と「外国人児童生徒等に対する教科指導研修講座」

を統合し、「多文化共生教育研修講座」として実施した。

④ 公開講座

- 学校組織としての持続可能な開発のための教育（E S D）の推進
 - ・ 公開講座「SDGs の実現を目指した人材育成セミナー」において、社会との連携、協働によるE S D推進のために、各地域や学校、企業等で行っている先進的な取組を知る講義内容を充実させた。
- 教師等をサポートする研修の充実
 - ・ 教育現場での不安や困り感の解消、I C T活用など新たな教育施策への支援のために公開講座「教師力養成講座」及び「教員 ReStart 支援講座」を新設した。

⑤ その他

- 教職員の新しい学びの実現を目指した研修体制の整備
 - ・ 集合研修とオンライン研修の双方のよさを生かした受講形態による研修を更に推進したり、知識伝達型の内容については、時間と場所に制約されることなく、自律的かつ継続的に学ぶことができるようオンデマンド学習用動画を拡充したりと、教職員が参加しやすい受講形態の工夫を行った。
 - ・ 自律的に学ぶ教職員と指導助言を行う管理職を支援するために、センターWeb サイトにキャリア段階・教員育成指標に応じた研修・学習コンテンツ一覧などの資料を掲載するなど、体系的・計画的な学びの環境を整備した。

2 実績

(1) 講座数・受講者数

() 内は令和4年度

	講座数	開催日数	研修日数	受講者数	受講対象
基幹研修	28 (26)	194 (195)	172 (171)	1,663 (1,638)	経験年数に応じて受講
指定研修	21 (22)	42 (38)	41 (36)	911 (915)	職種・職務に応じて受講
希望研修	48 (48)	137 (131)	135 (122)	1,561 (1,183)	教職員の希望者が受講
公開講座	4 (3)	5 (2)	5 (3)	32 (37)	一般県民を含む希望者が受講
全 体	101 (98)	378 (367)	353 (332)	4,167 (3,773)	

※令和5年度の受講者数については、申込数に対して重複を除外して算出している。

(2) 令和5年度に開催した研修講座一覧

① 基幹研修

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	幼稚園等新規採用教員研修	10	10	142
2	小・中学校初任者研修	25	14	220
3	高校初任者研修	16	16	49
4	特別支援学校初任者研修	20	17	49
5	新規採用養護教諭研修	11	11	23
6	新規採用学校事務職員研修	7	7	15
7	県立学校新規採用実習教員研修	5	5	3
8	新規採用寄宿舎指導員研修	4	4	1
9	小・中学校2年目経験者研修	3	1	162
10	高校2年目経験者研修	2	2	42
11	幼稚園等3年目経験者研修	2	2	38
12	高校3年目経験者研修	4	4	43
13	特別支援学校3年目経験者研修	5	5	44
14	学校事務職員3年目経験者研修	4	4	13
15	小・中学校4年目経験者研修	5	4	209
16	幼稚園等5年経験者研修	3	3	28
17	小・中学校6年目経験者研修	7	4	186
18	高校6年目経験者研修	5	5	54
19	特別支援学校6年目経験者研修	4	4	42
20	養護教諭6年目経験者研修	4	4	10
21	県立学校実習教員6年目経験者研修	3	3	2
22	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	8	8	14
23	小・中学校中堅教諭資質向上研修	10	8	158
24	高校中堅教諭資質向上研修	8	8	73
25	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	8	8	31
26	中堅養護教諭資質向上研修	7	7	5
27	中堅学校栄養職員資質向上研修	3	3	2
28	県立学校中堅実習教員資質向上研修	1	1	5
合計	基幹研修 (28 講座)	194	172	1,663

② 指定研修

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	新任幼稚園等園長研修	2	2	10
2	新任校長研修	3	3	107
3	新任副校長・教頭研修	3	3	128
4	新任事務長研修	2	2	19

5	新任幼稚園等副園長・教頭研修	1	1	8
6	新任特別支援学校部主事研修	2	2	15
7	新任教務主任研修	1	1	20
8	新任生徒指導主事研修	1	1	56
9	新任進路指導主事研修	1	1	22
10	新任学年主任研修	1	1	87
11	新任高校特別支援教育コーディネーター研修	1	1	20
12	新任事務長代理・副主幹研修	2	2	9
13	新任事務主任研修	3	3	28
14	新任栄養教諭研修	2	2	2
15	特別支援学校新任者研修	2	2	12
16	特別支援学級新任者研修	8	7	112
17	通級指導教室新任者研修	3	3	31
18	県立学校公仕研修	1	1	69
19	特別支援学校主任寄宿舎指導員研修	1	1	5
20	始動人育成に向けたキャリア教育実践研修	1	1	67
21	高校主権者教育実践研修	1	1	84
合計	指定研修 (21 講座)	42	41	911

③ 希望研修

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	国語科研修講座	1	1	61
2	算数・数学科研修講座	2	2	38
3	社会科・地歴公民科研修講座	2	2	15
4	理科研修講座	4	4	59
5	音楽科研修講座	1	1	24
6	図画工作科・美術科研修講座	2	2	27
7	体育科・保健体育科研修講座	4	4	5
8	安全な柔道授業づくり研修講座	1	1	5
9	技術科研修講座	2	2	4
10	家庭科研修講座	1	1	28
11	共通教科情報研修講座	3	3	8
12	道徳科研修講座	1	1	13
13	小学校プログラミング教育研修講座	4	4	9
14	高校英語科研修講座	1	1	8
15	小学校外国語活動・英語科研修講座	1	1	28
16	中学校英語科研修講座	1	1	20
17	特別支援学校部主事研修講座	1	1	8
18	教務主任研修講座	1	1	17

19	進路指導主事研修講座	1	1	9
20	保健主事研修講座	1	1	16
21	学年主任研修講座	1	1	17
22	研修主任研修講座	1	1	42
23	小学校生徒指導力向上研修講座	1	1	6
24	進路実現をサポートする教科指導力向上研修講座	5	5	16
25	幼児教育研修講座	1	1	66
26	健康教育研修講座	10	10	49
27	学校事務職員スキルアップ研修講座	8	8	129
28	専門性を高める学校図書館担当職員研修講座	1	1	22
29	見る・触れる・体験する環境教育研修講座	1	1	11
30	高校専門教育研修講座	8	8	50
31	ICT活用指導力向上研修講座	10	10	88
32	理科実習教員研修講座	1	1	5
33	特別支援教育充実研修講座	3	3	87
34	発達障害児学習支援研修講座	2	2	115
35	心理検査研修講座	1	1	62
36	いじめ・不登校等問題対策研修講座	4	4	76
37	高等学校探究活動推進研修講座	1	1	4
38	多文化共生教育研修講座	3	3	14
39	食育研修講座	2	2	9
40	ぐんま教職員キャリアアップ研修講座	2	2	17
41	学校安全研修講座	5	5	9
42	中学校免許外教科担当教員研修講座	1	1	11
43	異校種異動に伴う高校教科指導力向上研修講座	10	10	0
44	高校・特別支援学校臨時的任用教員及び非常勤職員研修講座	2	2	16
45	教育相談初級研修講座	8	6	85
46	教育相談中級研修講座	6	6	52
47	ゲートキーパー養成研修講座	2	2	27
48	教育相談実践充実フォローアップ講座	2	2	74
合計	希望研修 (48 講座)	137	135	1,561

④ 公開講座

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	始動人育成に向けたキャリア教育を考える	1	1	12
2	SDGs の実現を目指した人材育成セミナー	1	1	11
3	教師力養成講座	1	1	5
4	教員 ReStart 支援講座	2	2	4
合計	公開講座 (4 講座)	5	5	32

3 成果と課題

(1) 成果

- 初任段階から研修の連続性や経験年数の段階性を踏まえながら、教科指導や学級経営等の課題解決を図り、実践的指導力を高めていくことができた。
- 初任者及び新規採用職員研修において、必要な伝達内容を整理・精選し、協議・演習や振り返りを充実させたことにより、受講者が効率的・効果的にスキルを習得することができた。
- 中堅教諭等資質向上研修において、学校運営の中核的な役割を担う教員としての自覚を促す内容の講座を実施することができた。
- 指定研修において、受講者の置かれた立場・役割に応じた講義や協議を組み合わせることで、実践で活用しやすい研修を提供することができた。
- 各教科等の希望研修においては、調査官・教授等からの先進的な情報提供や提言を受けて、演習で理解を深めたり活用力を高めたりすることができた。
- 希望研修では多様なニーズに対応できるよう、国・県の主な教育課題を網羅できるよう、豊富な内容を取り揃えた。各研修講座においては、受講者の関心を更に高めながら学びを深めることができた。
- 公開講座「教師力養成講座」「教員 ReStart 支援講座」においては、教職の魅力を発信するとともに、不安感に寄り添うことで解消を図り、新たに又は再び教職に就く人材の掘り起こしにつなげることができた。

(2) 課題

- 教職員の着実なキャリア形成を推進するため、経験年数や校種に応じた研修だけでなく、「群馬県教員育成指標」で求められるステージごとの資質能力との関連を踏まえた研修内容の更なる充実を図る必要がある。なお、「群馬県教員育成指標」自体も定期的に直しを行っていくため、最新の「群馬県教員育成指標」の周知・徹底も継続的に必要となってくる。
- 研修講座の中で、受講者の実態を把握し、学校現場での不安や困り感、課題等を解消できるよう支援する必要がある。
- 教職員の体系的・計画的・自律的な学びへの支援として、センターWebサイトが活用しやすいものとなるよう、研修・学習コンテンツを絶えず整理・更新し続けなければならない。
(令和6年度中に「ぐんまの教職員総合支援ポータルサイト」を開設予定)
- 子供が主語となる授業、教員が主語となる研修が実現できるよう、研修デザイン等、内容を工夫していく必要がある。
- 多様な教育ニーズへの組織的かつ計画的な対応を更に推進していくため、特別支援教育、不登校児童生徒への支援、ヤングケアラーへの支援、外国人児童生徒等への教育等、テーマごとの研修内容を充実させる必要がある。
- 研修講座での見取りやリフレクションを活用して、個別最適な学びのサポートや困り感に寄り添ったサポートを充実させ、教職員のウェルビーイングを高めていく必要がある。
- 自己課題に基づく研修講座の積極的な受講に結び付けられるよう、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励と振り返りの活性化を図る必要がある。

II 教育研修員研修事業

1 概要

教員の資質能力の向上を図るために、教育の今日的課題の解決や実践的指導力の向上を目指した研究、及び長期社会体験による研修を行い、優れた識見と指導力を身に付けた教育活動の推進者を育成した。長期研修、長期社会体験研修、特別研修の3種類の研修を実施した。

<研修別基本方針>

区 分	基 本 方 針
長 期 研 修	本県の教育課題を踏まえた研修を通して、実践的な指導・助言力を高めるとともに、研究協力校や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。
長期社会体験研修	企業等における研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高めるとともに、本県のキャリア教育の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。
特 別 研 修	授業・保育実践を通して、教科等の指導力を高めるとともに、研究協力校や地域において指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

2 実績

(1) 研修員数

	幼稚園	小学校	中学校	義務教育 学 校	中等教育 学 校	高等学校	特別支援 学 校	合計
長期研修	0	8	11	0	0	1	1	21
長期社会体験研修	0	1	0	0	0	2	0	3
特別研修	1	15	13	1	0	11	2	43
計	1	24	24	1	0	14	3	67

(2) 研究領域等

① 長期研修の研究領域

研究領域	人数	研究領域	人数
社会、地歴、公民	2	特別支援教育	2
算数、数学	2	生徒指導、教育相談	2
理科	1	I C T活用教育	1
図画工作、美術	1	多文化共生教育	1
家庭、技術・家庭	1	高校教育の改善	1
外国語、外国語活動	1	日本語指導スーパーバイザー (JSV)	5
道徳	1		

② 長期社会体験研修における研修先企業

研修先企業	人数
群馬ヤクルト販売株式会社	1
システム・アルファ株式会社	1
株式会社クライム	1

③ 特別研修の研修領域

研究領域	人数	研究領域	人数
国語	4	農業	1
社会、地歴、公民	6	工業	1
算数、数学	3	商業	1
理科	5	道徳	2
図画工作、美術	1	総合的な学習（探究）の時間	1
体育、保健体育	6	特別活動	1
家庭、技術・家庭	2	幼児教育、幼少連携・接続	1
外国語、外国語活動	2	特別支援教育	2
情報	1	生徒指導、教育相談	3

3 成果と課題

(1) 長期研修

① 成果

- 今日的な教育課題の解決に向けた研究を通して、提案性のある教材や指導資料を開発し、授業実践に結び付けることができた。
- 「高校教育の改善」「多文化共生教育」「家庭、技術・家庭」に関する研究では、県の非認知能力の評価・育成事業とも関連付けながら手立てを検討し、先行的に実践研究を試行することができた。
- 日本語指導スーパーバイザー（JSV）に関する研究では、外国人児童生徒等の散在地域における日本語指導体制の充実を目指して、校内外における連携のための実践と授業実践を積み重ねることができた。
- センターにおける様々な検討会や、研究協力校の校内研修に積極的に参画し支援することにより、研修員の指導・助言力を高めることができた。

② 課題

- 国・県の教育課題の解決に向けて、教育課題別の領域に焦点を当てたチーム研究を推進することにより、研究成果を積極的に県内の学校等へ普及していく必要がある。

(2) 長期社会体験研修

① 成果

- 企業等における1年間の研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高め、本県のキャリア教育の中核的な役割を担うのに必要な知見を得ることができた。
- 企業等での研修を生かした研究協力校における授業実践や、研修成果をまとめた「キャリアダイアリー」の発信など、県内のキャリア教育の推進に寄与することができた。

② 課題

- 本県のキャリア教育の更なる充実のため、実践内容や「キャリアダイアリー」の活用を一層推進していく必要がある。

(3) 特別研修

① 成果

- 授業を公開したり実践の成果を発信したりすることを通して、研究協力校や地域の教職員の教科等の指導力向上に寄与することができた。
- 「はばたく群馬の指導プランⅡ」に基づく授業構想や、模擬授業、授業実践、リフレクションを繰り返しながら授業改善を図り、教科等の指導力を高めるとともに、各実践が指導プランの活用例の一助とすることができた。

② 課題

- 授業構想の検討や実践授業の検証を一層充実させ、教科等の指導力を更に高め、より質の高い授業を普及していくことが必要である。
- 「はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用Version」や「各教科等授業改善プロジェクト」との連携も強化し、県全体で一体性をもたせた授業の構築を図りたい。

Ⅲ その他（出前講座による研修支援）

1 実績

各学校園、教育委員会や研究所等からの要請を受けて、各種研修会などに指導主事を「研修支援隊」として派遣し、授業研究会での指導助言やワークショップ等の研修支援を行った。参加した教職員の総数は1,326名であった。

分類	件数
幼児教育	0(0)
授業改善	25(23)
生徒指導・教育相談	2(0)
特別支援教育	9(10)
情報教育	5(1)
学校・学級経営	2(5)
その他	2(1)
総計	45(40)

対象（校種等）	件数
幼稚園等	0(0)
小学校	15(21)
中学校	6(4)
義務教育学校	0(0)
高等学校	10(9)
中等教育学校	0(1)
特別支援学校	5(1)
教育委員会等	9(4)
総計	45(40)

地域等	件数
中部教育事務所管内	9(11)
西部教育事務所管内	4(3)
吾妻教育事務所管内	0(0)
利根教育事務所管内	2(2)
東部教育事務所管内	16(15)
県立・組合立学校	14(9)
その他	0(0)
総計	45(40)

() 内は令和4年度

2 成果と課題

- 教職に必要な素養として重視されている「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」や「ICTや情報・教育データの利活用」に主として関する内容を中心に、各学校園等のニーズに応じた研修支援を行うことができた。また、県全体の機運が高まっている非認知能力の育成や新しい研修制度に関する内容についてもオーダーがあり、学び続けるぐんまの教員・子供をサポートする一翼を担うことができた。
- 各学校園等と連携を図りながら研修支援隊の実施日や回数等の調整を行い、要望に応じた研修を実現するとともに、国・県の教育課題とも連動性をもたせて研修成果の裾野を広げていく必要がある。